

全校集会 校長からの話(6月17日)

皆さんこんにちは。校長・そして、2年生見学旅行団の団長 益満 です。

先日2年生のみなさんで行ってきた見学旅行は、天気にも恵まれてとても良い学習をしてきました。2年生のみなさんは、大きく体調を崩すこともなく、互いを思いやりながら大阪・京都でなければできない体験をしてきました。自分たちの自由な発想で計画をたて、集団行動をして、また、それぞれの責任を果たしながら、一生忘れない素晴らしい思い出をつくることができましたと思います。3年生のみなさんは今年の思い出を忘れずに、そして1年生のみなさんは来年を楽しみにしててください。

【写真:USJのホームページより】

さて、この旅行でUSJ(ユニバーサル・スタジオ・ジャパン)に行った際、私は『ハリウッド・ドリーム・ザ・ライド』というジェットコースターに生徒と一緒に乗ってきました。

私は、江戸時代であれば、平均寿命を大きく超えた「おじいちゃん」とも呼べる年齢なので、絶叫系アトラクションに乗るのは遠慮していました。なので「ガンガンコース」ではなく、「バランスコース」の生徒と一緒にUSJを楽しんでいたのですが、アトラクションの空き状況や、USJマジックにかかってしまい、「なりゆき」のようなかたちでハリウッド・ドリーム・ザ・ライド、通称「ハリドリ」に乗った訳です。



正直に言うと、乗る前はすごく緊張していました。こっそりスマートフォンで「ジェットコースター 心臓発作」などと検索したりしていました。

でも、いざ座席に座った時に「よし楽しんでやろう！」と決心しました。いざ動き出すと、まさに「落ちる」という感覚となりました。体が浮き上がるような爽快感と、耳元で流れる音楽が完璧にリンクして、恐怖が最高の感動に変わったんです。今思うと、余裕があったのかもしれませんが、周りの人たちもみんな、両手を挙げて全力で叫んで楽しんでいました。

その時思ったんです。人生もこのコースターと同じじゃないかと。同じレール(環境)を走っていても、自分が心の中でどんな『決心・ポジティブな考え方』をするかで、怖さが楽しさに変わります。そして、「きっと怖いのだろうな」というような「思い込み」で臨むより、恥ずかしさを捨てて、心のままに、全力で叫んで楽しんだ方が、ずっと心が楽で、楽しくて、忘れることのない素晴らしい体験になると思うのです。

事実、自分の殻を破ってチャレンジして本当に良かったと思っています。もし「ハリドリ」に乗らなかったら、逆に後悔をしていたかもしれません。決して1年生のみなさんに「来年は必ず乗ってください」と言っている訳ではありません。しっかりと計画を立ててください。

私の場合は、お蔭で、自分の体の悪いものが、ハリドリのすごいスピードと風圧で吹き飛ばされたような「デトックス感」さえ感じています。

これから皆さんも、現場実習をはじめとして、緊張する瞬間がたくさんあると思います。そんな時は、心の中で自分を奮い立たせ、両手を挙げて楽しむくらいの気持ちで、飛び込んでいってください！

自分の殻を破ったときに、きっと新しい自分の可能性を見つけることができるはずだと私は思っています。

チャレンジするみなさんをいつでも応援しています。